

たばこ火災に御注意ください！

令和2年 当消防本部管内の火災原因 第1位



◆たばこ火災が増加中！

喫煙率が低下しているにもかかわらず
たばこ火災が増加傾向にあるのはなぜでしょうか？
たばこ火災に至った主な理由は次のとおりです。



●不適切なところに捨てる

- ・たばこが消えたのを確認せずに室内のごみ箱に捨てたことにより出火した。
- ・河川敷や空地等の屋外でたばこが消えたのを確認せずに、火が付いたまま投げ捨てたため、枯葉等に燃え移り出火した。

●火源が落下する

- ・くわえたばこで室内を動き回って、火種が布団やカーペットに落下したことに気付かず外出したため出火した。
- ・灰皿に置いたたばこが、落下したことに気付かず、布団や紙類に着火し出火した。



◆たばこ火災の特徴



たばこ火災の特徴として、「**無炎燃焼**」があります。
無炎燃焼とは、言葉どおり炎を伴わずに燃えている状態のことで
長い時間にわたっていぶすように燃え続けますので、**燃えている
ことに気が付きにくい**傾向があります。
また、密閉された空間では人体に有毒な**一酸化炭素**を発生させる
こともあります。

◆たばこ火災を防ぐために

たばこ火災は、たばこを消したことを確認せず、あるいは火が付いたまま捨てたために発生することが多く、これは喫煙者のマナーに起因しているものと言えます。

喫煙者の方は、火を扱っている以上日ごろから火災予防を意識しておく必要があります。

また、自分に喫煙の習慣がなくても、御家族にたばこを吸われる方がおりましたら、住宅防火のために日ごろから気を配り、家族として一言注意喚起するなど、家族ぐるみで防火対策を考えてみましょう！

●たばこのポイ捨てをしない！

屋外で何気なく捨てたたばこの火が、紙くずや枯草などに燃え移り、周囲の建物を巻き込む大火災となる可能性もあります。

たばこのポイ捨ては絶対にしないでください。



●火が消えているか確認を！

掃除の手間を惜しんで吸殻がたまりがちになる灰皿は消しきれなかったたばこの火がたまった吸殻に燃え移り火災を引き起こすこともあります。

吸殻が灰皿にたまらないように頻繁に掃除することを心掛け、捨てる時には水を掛けて完全に火が消えていることを確認してから捨てましょう。

灰皿にあらかじめ水を張っておくとよいでしょう。



●寝たばこをしない！

飲酒後などに喫煙しながら寝入ってしまったため火災の発生に気付かず、逃げ遅れるケースも発生しています。

また、一酸化炭素中毒の危険も考えられます。

寝たばこは大変危険な行為です。絶対にやめましょう。



◆住宅用火災警報器を設置しましょう！

たばこ火災は、煙が発生してから発火するまでに時間がかかるため、早期に発見すれば簡単に消火できます。

少しでも早く火災に気付くために、住宅用火災警報器を設置しましょう！